

第 71 回電力・ガス基本政策小委員会に関する意見

2024 年 3 月 13 日  
一般社団法人日本経済団体連合会  
資源・エネルギー対策委員会  
企画部会長 武田 孝治

第 71 回電力・ガス基本政策小委員会における議題につき、以下の通り意見を提出いたします。

**資料 4 電力システム改革の検証に係るヒアリング事務局提出資料**  
～小売全面自由化～

経過措置料金について、電力・ガス取引監視等委員会により競争状況の確認が行われているが、指定解除の基準を満たす供給区域がないため昨年 6 月末の制度設計専門会合で議論され経過措置料金の指定解除が見送られている。これは小売全面自由化の遅滞とも取れるため、このような状態が継続している原因や課題を分析・把握することが本検証において重要と考える。

更に重要な点は、経過措置料金が指定解除され、自由料金のみ完全に移行した際の影響評価である。最近、相対契約電源を減らしスポット市場調達を増やした結果、小売事業者がスポット市場価格高騰の影響を大きく受ける等の状況が生じている。変動性再エネの拡大や資源燃料価格のボラティリティ上昇といった昨今の内外環境の変化を踏まえ、小売全面自由化の目的を果たし、かつ、市場の安定や電力の安価・安定供給を確保できるだけの措置が講じられているのか、具体的かつ十分な検討が必要と考える。

これと併せ、小売全面自由化により持続的競争環境が維持された市場における、安価・安定供給の前提となる電源や燃料確保の在り方、責任やリスクの所在等についても検討してすべきである。

以 上